

学校名 熊谷市立別府小学校
所在地 熊谷市西別府29番地1
電話 048-532-6030

1 本校の概要

本校は、熊谷市の西部に位置し、田畑に囲まれ、別府沼公園に隣接した自然に恵まれた環境にある。児童数は450名で、毎年1学級ずつ学級数が増えている。児童は、読書が好きな子が多く、休み時間の図書の貸出や夏休みの学校図書館開放を楽しみにしている。

学校図書館経営は、司書教諭(学校図書館主任)が主に計画・立案し、図書館補助員との協働、分担で行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

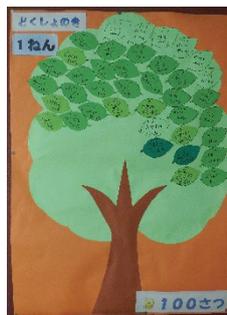
上記の視点を受け、「読書活動の充実における実践」「家庭や地域との連携」に重点をおいて取り組んでいる。

ア 読書活動の充実

① 読書目標の設定

〔読書の木〕

- ・ 学年に応じた1年間の読書目標を設定し、音読カードと読書記録カードをセットにし、読書した日付やページ数、冊数を記入していく。
- ・ 各学年の「読書の木」をホールに掲示し、目標を達成した児童名を葉に書き、木に貼る。目標達成した児童には、学校図書館から葉をプレゼントする。



② 年2回の読書週間の取組

- 「あじさい読書週間

6/13～6/24

- 「どんぐり読書週間

〔あじさい読書週間〕

11/11～11/25 (11月は読書月間)

- ・ 読書月間中に1～3年は15冊、4～6年は400ページの本を読むようにする。
- ・ 熊谷市すいせん図書「こころのたから」から1冊、高学年は伝記からも1冊読むようにする。



- ・ 図書委員による本とのふれあい集会(オンライン)の実施。
- ・ 「わたしのおすすめブック」友達に薦めたい本を選んでカードに書き、教室やホールに掲示。
- ・ 放送による読書感想文の発表(学校代表者)。
- ・ 読書感想画への取組(学年に応じた方法)。



イ 地域や家庭との連携

- ・ 朗読研究会「ピース」による読み聞かせを2年生から4年生までを対象に年2回ずつ昼休みに実施。
- ・ 「虹の会」によるおはなし会を低学年が年2回、国語の時間に実施している。
- ・ 夏休みの学校図書館開放により、児童とともに保護者にも積極的に読書を楽しむ機会を設ける。
- ・ 家庭の生活リズムに合わせた親子読書への取組。
- ・ 図書だよりを発行し、読書推進の啓発を図る。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 学校図書館への来室人数が増え、学校図書館の本の貸出冊数は、一人平均13冊であった。(11月22日現在)
- ・ 年2回の学校独自の読書週間の取組により、本に親しむ機会を学校全体で増やしていくことができ、友達や家庭の中で楽しく読書を進めることができた。

(2) 課題

- ・ 図書部が中心となり、高学年の読書目標の達成率を上げたり、読書を苦手とする児童への手立てを考えたりしていきたい。
- ・ 図書室の利用は増えたが、選ぶ本の偏りも見られるため、読書の質が高まるよう熊谷市すいせん図書「こころのたから」の本や推薦図書の紹介も積極的に行っていきたい。

(3) おわりに

今後も、読書活動の充実、地域や家庭との連携における実践に取り組むとともに、学級文庫の充実や学校図書館の環境整備にも工夫して取り組んでいけるようになっていきたい。